

お父 Ring 沖縄共同代表イクメン保健師 育児研修報告書 vol.2



第二回目 “良い” パパのフレッシュャー

育児に入ったものの相変わらず、育児の不安および仕事（家事）の重圧は日々増していました。これに追い討ちをかけるように私のことが新聞で取り上げられ、知り合いはおろかスーパーで知らない人にイクメンの人？と言われてたり。こんな状況では育児から逃げることはできず、しょうがない？と思って、まじめにイクメンに取り組むことにしました。

とはいうものの世の中には、イクメンたるもの、飲みについてはいけないとか、育児を放りだして趣味に走ってはいけない。イクメンとは、家事も育児もこなすナイスなパパだという、私にとっては悪夢としかいえないプレッシャーが広がっていました。こんな状況に私は、イクメンという言葉が嫌いになり、イクメンブームなんて早く終わればいいのにと考えていました。

そんな追い詰められた私が考えたのは、ママ以上のことをすれば、良いパパ=イクメンとして、認められるのではないかということ。というわけで、ママから与えられた、業務（家事）を完璧にこなそうと、仕事しているときより早く起きて、ミルク用のお湯を沸かして、洗濯して、朝ごはんを作って、掃除して、休むことなくがんばりました。が、休み＆自分の時間がないし、まだ、生まれて半年の子どもは日本語をしゃべれるはずもなく、誰とも話ができない時間が続き苦痛でした。なので、ママが帰ってくるのが待ち遠しく、「おかしいな。仕事はもう終わっているはずなのに、なんて帰ってこないんだろう」と、子どもを抱っこしながら、外で待っていました。よくよく考えてみると数ヶ月前の自分の姿を見ているようでした。そんな感じでがんばっていたのですが、家事をたくさんやっても、育児に熱心でも妻はほめてくれないし、パパはがんばっているというのに、子どもは、ママにべったり。パパとしては家事って報われたいと思っていました。

そんなある日、朝から子どもがなぜかご機嫌斜めで、ずっと抱っこをせがまれ、手が離せませんでした。すると、どこからかうんちのおいがしたのでオムツを替えていると、ちょっと目をはなしたすきに、子どもがまさかの寝がえりで、周囲の服や、シーツにうんちが飛び散ってしまうという大惨事が発生。私は、もう大パニック。ただただ、子どもの名前を叫んでいました。しばらく放心状態になりながらも、片づけをしていました。すると、もう妻の帰宅時間。どうしよう、晩御飯の準備をなにもしていないと、あせってなんとか作ったのが、親子丼でした。私的には、精一杯の晩ご飯だったんですが、妻が言ったのは、

「これだけ？」

ささいな言葉でしたが、これまでの家事と育児での苦勞が一気に噴出してしまい大喧嘩に。この日を境に、どうも専業主夫は根をつめてやるのはいけないと思いました。なので、妻と話し合い、どうしたらいいのか、熊本家の育児について考える時間をとりました。

次号 第三回目へ続く



熊本 浩平（西原町役場 健康推進課勤務 保健師）妻と1才児（男）の3人家族
子育てを楽しむパパの会 お父 Ring 沖縄共同代表（ブログ：<http://ikmen2011.ti-da.net/>）

家庭教育学級を開催しました

西原中学校 第1回家庭教育学級

6月18日（土）10:30～13:30

◇実習

「県産品の野菜を使った料理教室」

◆講師 上里 初枝（沖縄協同青果株式会社 フードアドバイザー）

「安全な料理を美味しく楽しく調理。味のレパートリーが増えました♪」

西原中



西原小学校 第1回家庭教育学級

6月19日（日）14:00～16:00

◇講話

「読み聞かせの魅力とパワー」

◆講師 大田 利津子（沖縄県子どもの本研究会事務局長）

「親子の読書体験の共有が言葉を豊かにし、子を成長させます！」

西原小



西原南小学校 第1回家庭教育学級

6月29日（水）17:30～19:00

◇講話

「親子読み語り」

◆講師 高見 知佳（タレント）

「高見さんの声色を変えた楽しい読み語りにみんな大興奮！」

西原南小



西原東小学校 第1回家庭教育学級

7月4日（月）19:00～20:30

◇講話

「家庭学習の習慣をつける」

◆講師 比嘉 直美

（読谷村古堅南小学校教諭）
「日々の読書・毎日の家庭学習の積み重ねが学力向上に繋がるのです！！」

西原東小



「平和への思いと応援メッセージ がんばれ東北！」を朗読した司会の比嘉周作さん

第21回 西原町平和事業 東日本大震災復興支援 2011 西原町 平和音楽祭 PEACEFUL MUSIC FESTIVAL 2011

会場は多くの観客でにぎわいました。



西原小6年生のみなさん



西原高校マーチングバンド部の華麗な演技



活動報告「小さなことから始めよう」を紹介するONE LOVEのメンバー

6月23日の慰霊の日に、第21回西原町平和事業「西原町平和音楽祭2011」が西原町運動公園交流広場で開催されました。今回の「西原町平和音楽祭」は「みんなの心をひとつにして、笑顔で、さあ、できることから始めよう」をテーマにし、東日本大震災復興支援を兼ねて行われました。会場内では、義援金の募集などが行われ、17,170円の寄附が集まりました。

町子連ジュニアリーダーによる平和への思いのメッセージと、司会の比嘉周作さんによる応援メッセージ「がんばれ東北！」で幕が開け、西原小6年生が美しい歌声を、西原高校マーチングバンド部が華麗な演舞を披露。ライブではゲストアーティストのオリジナル曲に乗せて、会場が一体となって盛り上がりしました。

また、沖縄キリスト教学院大学の平和サークル「ONE LOVE」が取り組んでいるアジア地域の子どものための支援活動も映像で紹介されました。

今回は、「笑顔」をキーワードに、「101の笑顔達」というタイトルのもと、町内の保育園児から大学生までの笑顔をスライドショーで紹介。数々の子どもたちの笑顔が歌に合わせて流れ、会場は感動に包まれました。

会場には家族連れなど約1,600名が訪れ、初夏の夜に流れる映像やライブに耳を傾け、平和を願う心と被災地の復興への思いを深める音楽祭になりました。



平和メッセージを読み上げた町子連ジュニアリーダーのみなさん



The Blue Sky Kick's



SHU & BUN



上間 明 町長



音楽祭の最後を飾った海勢頭豊さん



明るい笑顔と歌を披露した謝花伊早武（イサム）さん

